

三重県観光の現状（三重県観光のSWOT分析）

強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢神宮、熊野古道、海女、忍者、松阪牛等、世界に誇る一級の観光資源 ● 近年の県内各地における観光魅力の創出等の取組強化 ● 中京圏、関西圏の二つの人口密集地に近接 ● (三重の観光プロデューサーのノウハウと、三重県観光販売システムの機能の組み合わせによる) 三重県独自の集客システムの構築 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> ● 本県の知名度・認知度の低さ ● おもてなしの主體的な役割を担う観光人材の不足 ● 十分とは言えない外国人観光客の受入体制 ● 近年の観光客満足度の低迷
機会 (Opportunities) <ul style="list-style-type: none"> ● 式年遷宮をきっかけとして全国から集まる本県への注目 ● 中国を中心とした外国人観光客の増加 ● 国を挙げての観光立国に向けた取組の強化 ● インターネットの普及による情報提供機会の増大 	脅威 (Threats) <ul style="list-style-type: none"> ● 国内における人口減少社会の到来 ● 経済不況、東日本大震災等による観光需要の減退 ● 国内の宿泊観光旅行回数、宿泊客数の減少 ● 国内外で展開される観光地間競争の激化

多様な主体からの期待

県民

【県民が評価する三重県観光のイメージ】

- 第1位 自然や風景が素晴らしい
- 第2位 おいしい食べ物がある
- 第3位 歴史や文化が素晴らしい

【今後の三重県観光に期待すること】

- 第1位 三重県産の食材を生かした食の魅力づくり
- 第2位 県産品のブランド力を生かした土産や特産品づくり
- 第3位 地域の観光資源を生かした観光地づくり

H22県民・事業者等アンケート(1,189人)

市町

- ・観光に取り組む人材の育成
- ・市町間・地域間における広域連携

- ・地域資源の魅力を生かした観光商品づくり

H22県と市町との地域づくり連携・協働協議会 協議事項

事業者・関係団体

【今後の三重県観光に期待すること】

- 第1位 ホームページやパンフレットを活用した観光情報の発信
- 第2位 キャンペーンやイベントによる新たなイメージづくり
- 第3位 道路や町並みの整備、景観づくりなどの基盤整備

H22県民・事業者等アンケート(154事業者・団体)

国内観光客

【個別満足度(上位3項目)】

- 第1位 景観・雰囲気(自然)
- 第2位 宿泊施設(食事の質)
- 第3位 景観・雰囲気(まちなみ)
- 第3位 観光施設(施設・体験の内容)

【個別満足度(下位3項目)】

- 第1位 費用負担
- 第2位 情報・案内
- 第3位 地域住民のおもてなし

H22観光客実態調査(3,209人)

外国人観光客

【不便に感じたこと】

- 第1位 標識等(多言語表記)
- 第2位 交通(乗り継ぎ等)
- 第3位 言葉

H22外国人観光客実態調査(3,043人)

計画の位置づけ

三重県観光振興条例（仮称）に基づき、観光振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画

計画期間

概ね10年先を見据えつつ、**平成24年度から平成27年度までの4年間**

10年後にめざすべき姿

- 県、市町、県民、事業者、関係団体の相互連携が確保されていること
- 観光資源の魅力を最大限に活用して国内外からの誘客が図られていること
- 地域における創意工夫を生かした主体的な取組が尊重されていること
- 県内の観光資源を一層充実させ、かつ、その継承が図られていること
- 観光旅行者の満足度の向上が図られていること
- 地域の生活環境の保全と観光振興のための環境整備との調和が図られていること

計画目標(案)

項目	項目の説明	現状値	目標値 (平成27年度)
観光レクリエーション入込客数	県内の観光地を訪れた人数を、全国観光統計基準に基づき集計した推計値 【三重県「観光レクリエーション入込客数推計書」】	3,562万人 (平成22年度)	
延べ宿泊者数	県内の宿泊施設における宿泊者数 【観光庁「宿泊旅行統計調査」】	530万人 (平成22年速報値)	
外国人延べ宿泊者数	県内の宿泊施設における宿泊者数のうち外国人宿泊者数 【観光庁「宿泊旅行統計調査」】	78,810人 (平成22年速報値)	
観光ホームページのページビュー数	ホームページ「観光三重」のページビュー数(携帯サイト含む) 【三重県観光・交流室調べ】	21,126千件 (平成22年度)	
リピート意向率	当該地域を再び訪れたいと回答した観光客の割合(7段階評価の上位2段階) 【三重県「観光客実態調査」】	75.7% (平成22年度)	
観光客満足度評点	県内の観光地を訪れた観光客の満足度を100点満点に換算した数値 【三重県「観光客実態調査」】	81.1点 (平成22年度)	
観光消費額	観光客が支出した交通費、宿泊費、飲食費、買物費、その他費用の合計を集計した推計値 【三重県観光・交流室調べ】	5,125億円 (平成21年度)	1

今年度、策定される「新しい県政ビジョン」の整合性も図りながら検討

計画の構成（案）

1 計画の基本的な考え方

- (1) 計画策定の趣旨
- (2) 計画の位置づけ
- (3) 計画期間

2 三重県観光の現状と課題

- (1) 観光を取り巻く環境
- (2) 三重県観光の現状
- (3) 三重県観光振興プランの推進による
主な実績と残された課題

3 基本方針と目標

- (1) めざすべき姿
- (2) 基本方針と施策体系
- (3) 計画目標

4 三重県観光の持続的な発展に向けた施策の展開

- (1) 観光資源の魅力を生かした国内誘客
- (2) 三重県を主要目的地とする海外誘客
- (3) 多様な主体による観光の魅力づくり・人づくり
- (4) 利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり
- (5) 地域別観光振興の方向

5 推進体制の整備

- (1) 計画の推進体制
- (2) 観光統計の整備
- (3) 計画の進行管理

観光資源の魅力を生かした国内誘客戦略

エリア別の情報発信・誘客のさらなる強化
周遊性・滞在性の向上につながる誘客の仕掛けづくり
地域との協働による教育旅行の誘致 等

三重県を主要目的地とする海外誘客戦略

海外の市場動向に応じたプロモーション及び誘客活動の展開
国及び他府県との広域連携の推進
外国人観光旅行者の受入体制の整備充実 等

多様な主体による観光の魅力づくり・人づくり戦略

地域の持続的な観光地づくりへの支援
観光地づくりを担う人材の育成（おもてなしの向上）
ニーズの多様化に応える新たなツーリズムへの対応
本物にこだわった県産品の魅力づくり
県民の観光行動の促進 等

利便性・快適性に優れた観光の基盤づくり戦略

観光地の景観形成・快適な交流空間づくり
人にやさしい観光地づくり
観光旅行の安全・安心の確保
観光振興に資する交通基盤等の整備促進 等

地域別観光振興の方向

北勢、中南勢、伊勢志摩、伊賀、東紀州地域の観光振興の方向性 等

今後の予定

